未婚の母子（父子）調書
~~事実婚の解消に関する~~

項　　目	内　　容
児童の父（母）の状況 （事実婚解消の場合、事実婚の相手との状況を記入）	氏　名 住　所
申請者に対する児童の父（母）からの定期的な生計の補助	1．あり（月　　万円程度）　　2．なし
申請者と児童の父との交流の状況	1．定期的な訪問がある（月　　回）　　2．なし
その他参考事項	

※事実婚の解消を支給事由として申請される方は以下の欄も記入して下さい。

同居の有無	1．あり　　2．なし 同居の期間 年　月から　　年　月まで 同居時の住所

上記のとおり、相違ありません。

年　　月　　日

氏　名　　印

受付年月日	年　　月　　日	市町村担当者 氏　　名　　印

（注）申請者は記名押印に代えて署名することができます。

・婚姻（含事実婚）によらずに子が出生した場合はこの調書を作成する。
※支給要件が「未婚の母子」の場合に記入する。
・子の父の状況、妻の有無、仕送りの有無等を本人より聴取し、記載する。

事実婚にない旨の申立書

１．妊娠時の様子を書いて下さい。

※ どのような経緯で妊娠したのかを具体的に記入してください。

２．その後の状況を書いて下さい。

※ 妊娠後、相手との交流状況（将来の婚姻予定等はあるのか等）、児童に対する交流状況（認知はしたのか、援助等はあるのか等）を具体的に記入してください。

年　　月　　日に児童を出生しましたが、上記のとおり申し立てます。

年　　月　　日

住　　所

氏　　名　　印

※支給要件が「未婚の母子」の場合に記入する。すなわち児童の父との事実婚がない場合。
※妊娠時から請求時まで事実婚がないことを具体的に記入してください。

民生委員の方へ記入をお願いしてください。

事実婚についての調査書

年　　月　　日

民生委員氏名　　印
電 話 番 号

上記の事項についての調査結果は、以下のとおりです。

記

1　請求者　　住所
　　氏名

2　調査結果
（1）調査方法　　ア　家庭訪問　　イ　近所からの聞き取り
　　ウ　その他

（2）調査内容　　ア　家族の状況（　　）
　　イ　父親の訪問
　　・有り（月　　回）
　　・無し
　　・不明
　　ウ　父親からの連絡
　　・有り（月　　回）
　　・無し
　　・不明
　　エ　養育費、生活費の援助
　　・有り（月　　回）
　　・無し
　　・不明
　　オ　その他　特記事項（　　）

（3）事実婚についての意見

※事実婚とは

内縁関係の夫婦であって、戸籍上の届をしていないため、法律上の夫婦ではないが、社会通年上、当事者間に夫婦としての共同生活と認められる事実関係が存在する場合である。

また、事実婚は原則として同居していることを要件とするが、別居していても、頻繁に定期的な訪問、かつ、生計費の援助がある場合、あるいは母子が税法上の扶養親族の取扱いを受けている場合には、児童扶養手当上は、事実婚が成立しているものとして取り扱われている。

※申請者が、未婚で出産した場合や、事実婚解消を理由として申請する場合、または、受給者が妊娠した場合などに調査を依頼する様式です。

※場合によっては、「父親(母親)」を「交際相手」に読み替えてください。